



明るく 豊かに たくましく

鶺鴒川高校だより

令和6年2月号
(R6.2.26発行)
北海道鶺鴒川高等学校
TEL/FAX 0145-42-2085

学校HP <http://www.mukawa.hokkaido-c.ed.jp/>

鶺鴒川高校を世界の探究活動のリーディングスクールに

校長 柳本高秀

日頃より地域の皆様には、鶺鴒川高校の教育活動にご理解ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。鶺鴒川高校は、長年、「むかわ学」をはじめとした探究活動を進めております。高校の学習指導要領においても、総合的な探究の時間や教科横断的な学びの推進が叫ばれている中、鶺鴒川高校はいち早くその取組を始めているのです。いま、世界の教育の潮流は、文系・理系の枠を越え、様々な教科の考え方を取り入れた課題解決学習・探究学習です。欧米では、理科や数学、工学、人文科学や芸術等の要素を横断的に学び、社会のあらゆる課題を解決していく「STEAM教育」が主流となっています。先日東京大学は、さらなる世界基準の教育を目指し、学部と修士課程にまたがる5年一貫の新教育課程を、2027年秋より開始することを発表しました。新課程では、市民目線で物事を考え、脱炭素など、多分野にまたがる国際的な問題や地域課題の解決方法をデザインできるような人材の育成を目指そうとします。まさに、現在本校で取り組んでいる「むかわ学」等の探究学習も、これらの人材育成の目標に合致しているものなのです。探究活動の歴史は古く、1900年代アメリカの哲学者「デューイ」に始まります。そのデューイは、教科書や教師中心ではなく、子どもの興味・関心を中心とした教育を唱えたのです。この流れは日本にも到達し、「生活単元学習」や「問題解決型学習」という名で実践され、現在の探究学習の基礎となっているのです。ノーベル賞受賞者のむかわ町出身鈴木章先生は、「むかわから世界へ飛躍しよう」とおっしゃっています。私も、鶺鴒川高校の目指す姿に、真の『グローバル化』があると思っています。



鶺鴒川高校はこれからも、探究活動等で育まれる問題を解決していく力や、今までの慣習にとらわれない創造性豊かな推進力を自ら主体性を持ってどんどん育ていけるよう、世界の探究活動のリーディングスクールになるべく深化と進化を続けます。

進路指導部より

進路指導部長 野月健司

今年度の3年生の進路状況について、ご報告いたします(1月23日現在)。今年度の3年生45名のうち、進学者(希望者4名含む)が27名、就職者が16名、公務員が2名となっております。今年度は公立大学(高崎経済大学・旭川市立大学)合格者2名が出ました。公立大学に関しては、三年連続で合格者が出ております。近年の入試では、国公立大学入学者の約2割、私立大学では約6割の生徒が学校推薦型選抜・総合型選抜を利用して入学しています。学部・学科ごとに適性のある生徒を選抜するため、志望理由書、活動報告書、自己推薦書、面接などが重視されています。最近では、高校での「探究」の授業の成果について、志望理由書や活動報告書に記載したり、面接で自己PRしたりすることも増えています。今年度も多くの本校生徒は、「むかわ学」「部活動」「ボランティア活動」等での学びが様々な場面で生かされていたようです。就職者は、比較的早期に全員が内定をいただくことができました。ほとんどの生徒が管内近郊への就職となります。特に、活躍する卒業生のいる企業に就職内定をいただき、卒業生の努力が先輩に道を示してくれるという良いつながりを感じることができました。デュアルシステムやインターンシップでの勤労観・職業観の育成が上手く進んでいる成果であると感じています。

● 進学

種別	男	女	合計
大学	11	1	12
短大	0	1	1
専門・各種学校	7	2	9
看護学校	0	1	1
予備校(その他)	0	0	0
合計	18	5	23

● 就職

地域	男	女	合計
町内	2	0	2
管内	6	2	8
道内	1	4	5
道外	0	0	0
公務員	2	0	2
その他	0	1	1
合計	11	7	18

最後に、このような結果を導くことができているのは教員のみならず、保護者の方々、むかわ町の方々、公営塾の方々など、多くの方々の支えがあつてのことだと思っています。今後も様々な場面で、生徒へのご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

体育大会を終えて

1年B組 富野杏菜

1月24日、25日に行われた体育大会は1年生にとっては初めてのものでした。当日に向けて、体育の時間を使って練習を重ねたり作戦を練ったりなど本番前からとても楽しみにしている様子でした。当日は、バスケ、バドミントン、バレーやフットサルなどのクラス選抜競技、ドッジボール、玉入れ、綱引きなどのクラス対抗競技が行われ、どの種目も大いに盛り上がりしました。優勝クラスと先生方との試合も行われとても面白かったです。自分が試合に出場していない時間でも他のクラスや学年の試合を見て楽しむことができ、とても充実した2日間となりました。1年B組としては、総合優勝することができて嬉しかったです。この体育大会を通して、学年を超えた交流やクラスで1つのことに向かって協力できたこと、そして学校全体での思い出が1つ増えたことを嬉しく思います。新しく入学してきた1年生とも交流できると考えると来年の体育大会もとても楽しみです。



コラム ～地域みらい留学 365 留学生を迎えて☆彡

「地域みらい留学 365」は、在籍する高校とは別の地域で高校 2 年生の 1 年間で過ごす、国内単年留学を可能にする制度です。今回で 2 人のコラムは最終回になります。今回はこれまでの留学について振り返ってもらいました！

2年A組 矢代 茉鼓 (やしろ まこ) さん

苫小牧、沼田の自然学校の 2 拠点で、東京から来る子どもたちとのキャンプ！11 日間の長旅で、高校生スタッフとして enjoy！例えば、エゾシカの解体！一頭のシカを捌くところから、お肉は美味しく料理、骨は消毒して標本に、さらに皮は東京でなめし作業をして楽器を作ります。そして沼田では 2m 以上積もる豪雪の真っ白な世界に仰天！雪を 0 から掘り進め「雪まちサウナ」を手作りしたり、雪ブロックを積んでイグルーを作ったり！屋根から雪に「年越しジャンプ」もしました！北海道の冬、素敵な思い出です！



2年B組 本郷 夏奈 (ほんごう かな) さん

こんにちは。地域みらい留学 365 生の本郷夏奈です。もう留学期間が残すところあと 2 か月を切りました。北海道の寒さを体験し、むかわの春夏秋冬を過ごすことができました。道路が凍ってツルツルしているところで転んだり、積もっている雪の上を歩いたりするのが楽しいと思えるまでに北海道に慣れてきたなと思います。やっと冬に慣れてきたのにあと少しで地元に戻らなくてはならなくて残念ですが、残りの生活を全力で楽しもうと思います！



🏀写真特集：白熱の体育大会！！with 軽音楽部ゲリラ LIVE🎸(HP、SNS に他の行事の様子もあります！！)



←北海道鶴川高等学校
公式 HP



←北海道鶴川高等学校
公式 Facebook 



←北海道鶴川高等学校
公式 Instagram 